

PRIMERGY ES280 ハードウェアセットアップガイド

P3F1-0280-01-00
A 0006-1

本ガイドに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2000

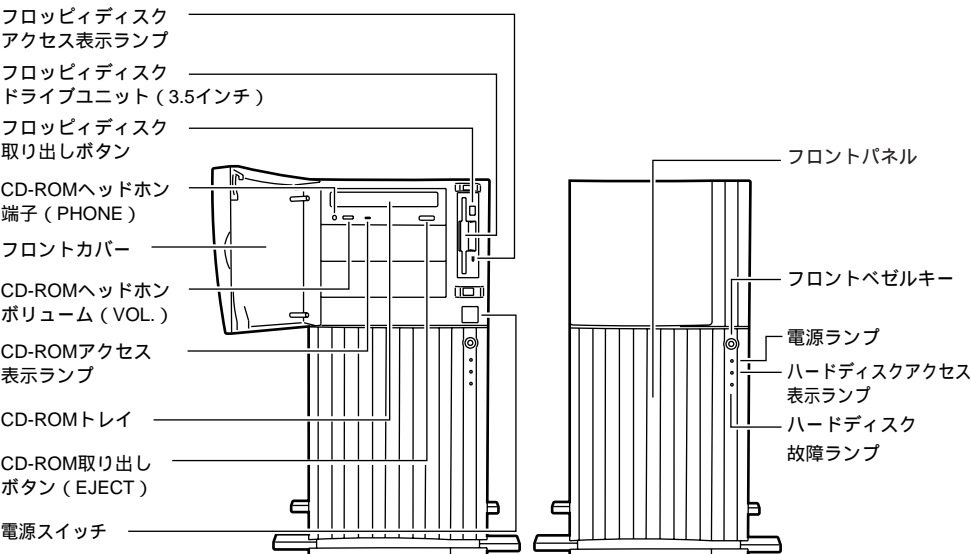
設置から運用まで

本サーバの設置から運用までの流れを示します。
以降の流れ図に従って、設置から運用までの作業を行ってください。

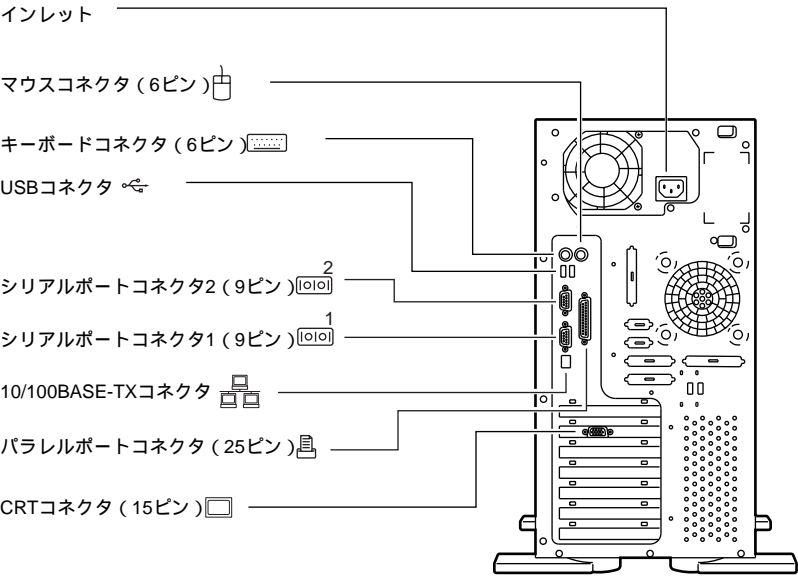
- 1 梱包物 / 添付品を確認する
- 「第2章 設置と接続」の「2.1 梱包物の確認」
- 2 設置場所を確認し設置する
- 「安全上のご注意」、「第2章 設置と接続」
- 3 準備する
- 事前に以下のものを用意してください。
- ・ ServerWizardのCD-ROM (以降ServerWizard CDと記述します)
- ・ 工具 (プラスドライバー)
- 重要
- 本サーバに添付の以下のマニュアルを必ず準備してください。
- 『Windows NTをインストールしよう!』、
- 『PRIMERGY ソフトウェアガイド』
- 4 内蔵オプションを取り付ける
- 重要
- ServerWizardを使ってセットアップするときは、事前に取り付けられる内蔵オプションは決まっています。事前に取り付けることができない内蔵オプションは、ServerWizardを終了してから、取り付けてください。
- 『PRIMERGY ソフトウェアガイド』
- の「第1部 第1章 ServerWizard V2.0の概要」
- 注意
- 内蔵オプションを取り付けるときは、取り付けの位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。
- 「第5章 内蔵オプションの取り付け」、
- 『各オプション装置の取扱説明書』
- 5 周辺機器を取り付ける
- ディスプレイ装置、キーボード、マウスを本体装置に接続します。その他の周辺機器を取り付けます。
- 「第2章 設置と接続」の「2.3 接続方法」
- 6 各機器の取り付けを確認する
- 設置した装置にぐらつきがないこと、ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
- 7 電源の投入 / ServerWizard CDのセット
- 電源投入後すぐに、ServerWizard CDをセットします。
- 取り付けたメモリ総容量と同じ容量がディスプレイに表示されること、およびシステムが正常に起動することを確認します。
- 注意
- 必ずServerWizard CDをセットしてください。
- 「3.2 電源を入れる」
- 8 BIOSセットアップユーティリティを設定 / 確認する
- 注意
- 取り付けたオプション装置によって、BIOSセットアップユーティリティの設定値を、確認または変更する必要があります。
- 「4.4 BIOSセットアップユーティリティを使う」
- 『各オプション装置の取扱説明書』
- 9 SCSIコンフィグレーションユーティリティを設定 / 確認する
- 注意
- 使用する内蔵ハードディスクによってSCSIカードの設定を、確認または変更する必要があります。
- 「4.5 SCSIコンフィグレーションユーティリティを使う」
- 10 ISAコンフィグレーションユーティリティを設定 / 確認する
- 注意
- 取り付けたオプションカードによって、ISAコンフィグレーションユーティリティの設定値を、確認または変更する必要があります。
- 「4.6 ISAコンフィグレーションユーティリティ (ISA)を使う」

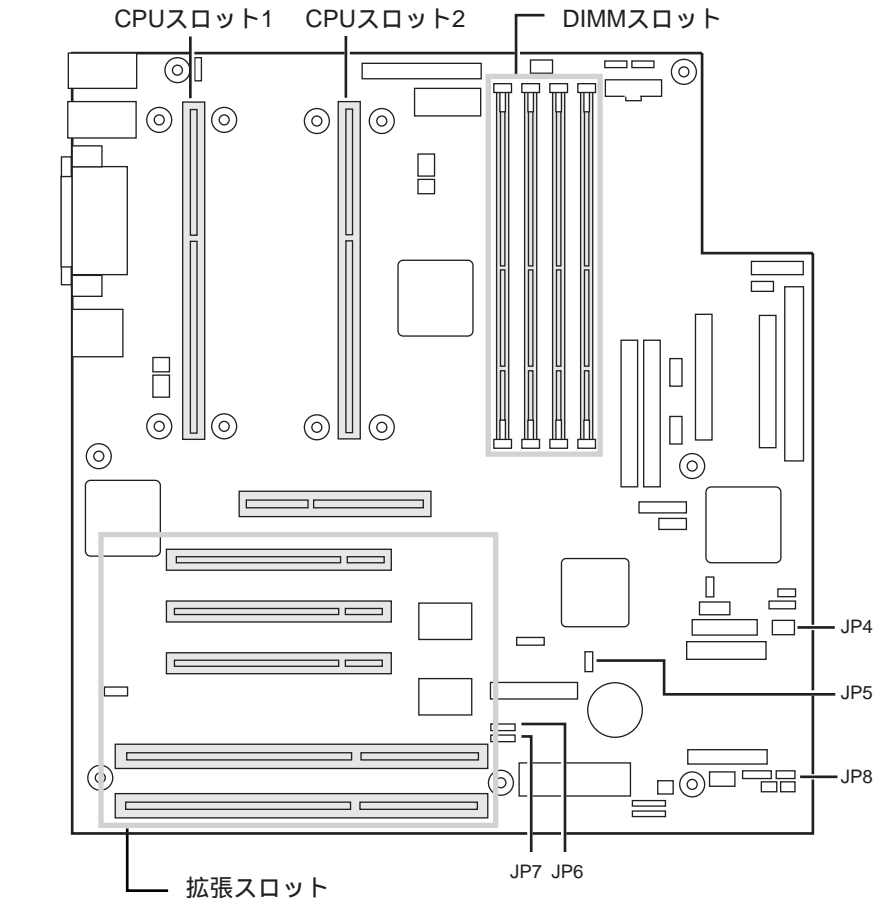
- 11 SeverWizardを実行する
- ServerWizardは、以下の作業を簡単に行うことができるWindowsサーバ導入支援プログラムです。
- ・ OSのインストール
- ・ ドライバ類のインストール
- ・ 必須ソフトウェアのインストール
- ここでは、ServerWizardを使って作業する場合と使わない場合に分けて説明します。以下の表に従って、ServerWizardを使用するかどうかを選択してください。
- | ソフトウェアのインストール | 参照箇所 |
|---------------------------|---|
| 設置からソフトウェアのインストールまで連続して行う | 「ServerWizardを使用する場合」
「ServerWizardを使用しない場合」 |
| ソフトウェアのインストールは別途行う | 「ServerWizardを使用しない場合」 |
- 重要
- アレイシステム構築時は、構築するシステム構成によって、ServerWizardを使用できない場合があります。
- アレイシステムを構築する場合には、事前に「PRIMERGY ソフトウェアガイド」を参照して、ServerWizardが使用できるシステム構成であるかどうかを確認してください。
- ServerWizardを使用する場合
- ServerWizardを実行します。
- 『Windows NTをインストールしよう!』
- 『PRIMERGY ソフトウェアガイド』
- 「6.7 Servenvisor / Intel® LANDesk® Server Manager
- について」および「Servenvisor / LDSMのオンラインマニュアル」
- ServerWizardを使用しない場合
- 以下の作業を手作業で行ってください。
- 1 ドライバディスクの準備
- ServerWizard CDから必要なドライバディスクを作成します。
- 「6.1 OSの種類と使用するドライバ」
- 2 OSのインストール
- 「第6章 ソフトウェアのインストール」
- 3 Servenvisor / LDSMのインストール
- 必須
- 「6.7 Servenvisor / Intel® LANDesk® Server Manager
- について」および
- 「Servenvisor / LDSMのオンラインマニュアル」
- 12 UPS (無停電電源装置) の取り付け
- 条件
- UPSを接続する場合
- 『UPSの取扱説明書』
- 13 システム設定情報を退避する
- 「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。
- 「4.7 BIOS設定情報およびICU設定情報の退避 / 復元」、
- 「付B.1 コンフィグレーションシート」
- 14 運用開始

サーバ本体前面



サーバ本体背面

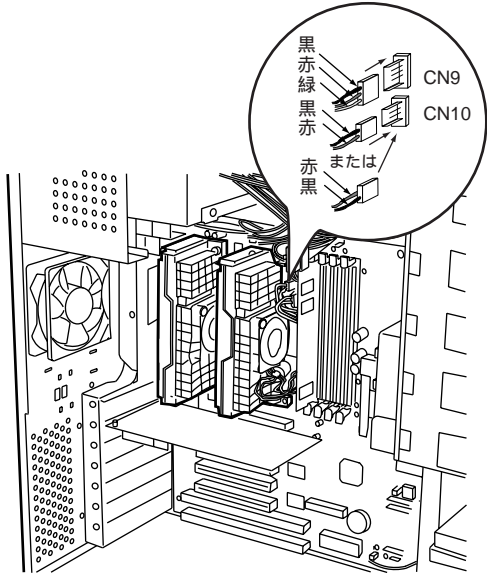




CPUスロット

CPUフィールドグレードアップキット(GP5-FG12Y/GP5-FG205/GP5-FG20A /GP5-FG20B)を使用して、最大2個までCPUを搭載することができます。

CPUを増設する場合は、CPUスロット2に搭載されているCPUターミネータカードを取り外します。CPUフィールドグレードアップキットを取り付け、ケーブルの種類および方向を間違えないように以下のように取り付けます。



コンフィグレーションジャンパ

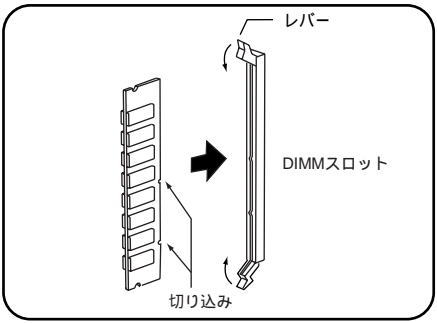
ジャンパ番号	ジャンパの設定（ショートの設定）	
JP4	2-3/5-6（工場出荷設定値 / 変更不可）	
JP5	1-2	（工場出荷設定値 / 変更不可）
JP6	2-3	（工場出荷設定値 / 変更不可）
JP7	1-2	BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にする
	2-3	BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にしない（工場出荷設定値）
JP8	1-2	（工場出荷設定値 / 変更不可）

DIMMスロット

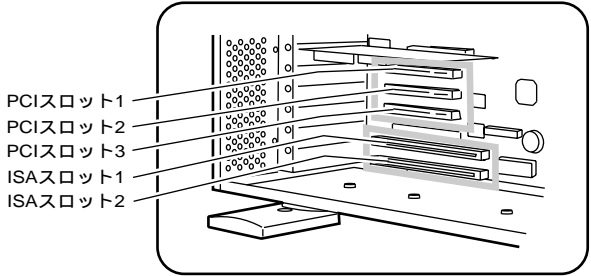
DIMMスロットには、拡張RAMモジュールを増設することができます。

- 拡張RAMモジュール64MB(GP5-RM64F)
- 拡張RAMモジュール128MB(GP5-RM12F)
- 拡張RAMモジュール256MB(GP5-RM25F)

拡張RAMモジュールの取り付けは、コンタクト部分の切り込みで向きを判断して、DIMMスロットに正しく挿入してください。レバーが閉じます。レバーが完全に閉じない場合は、指で押してください。



拡張スロット



拡張カードの搭載条件

搭載枚数制限		バス	搭載枚数	備考
搭載カード				
サーバモニタ サーバマネージメントアダプター	GP5-SM103 GP5-SMB101	PCI PCI	最大1 最大1	
SCSIアレイコントローラカード SCSIアレイコントローラカード SCSIカード	GP5-141A GP5-143 GP5-125	PCI PCI PCI	最大2 最大1 最大3 合計最大3	内蔵・外付けアレイシステム用 内蔵アレイシステム用 外付けSCSI装置接続用、内蔵SCSI 装置(GP5-ML301、GP5-DT401)接続用
LANカード (10BASE-5/2T) LANカード (1000BASE-SX) LANカード (100BASE-TX /10BASE-T) LANカード (100BASE-TX/IPsec) クラスキット4	GP5-181 GP5-183 GP5-185 GP5-187 GP5S634	PCI PCI PCI PCI PCI	最大3 最大1 最大3 最大3 最大1 合計最大3	
FAXモデムカード	FMV-FX531	ISA	最大2	
MSLキット	FMS-193	PCI	最大1	
ISDN接続G3/G4FAX通信カード	GP5-161	PCI	最大3	
RS-232Cカード 通信カードV/X ISDNカード	GP5-162 GP5-163 GP5-165	PCI PCI PCI	最大2 最大2 最大2 合計最大3	

PCIスロットの搭載位置とIRQ制限

・各拡張カードは次の表の左側の拡張カードから優先して使用し、数字の順にスロットを使用してください。

スロット	サーバモニタ モジュール GP5-SM103	SCSIアレイ コントローラカード GP5-143GP5-141A		SCSIカード GP5-125	サーバマネ ージメントアダ プター GP5-125	LANカード GP5-181 GP5-183 GP5-185 GP5-187 クラスキット4 GP5-634	その他の PCIカード
PCIスロット1	1	-	-	3	1	1	1
PCIスロット2	-	1	1	2	2	2	2
PCIスロット3	-	-	2	1	3	3	3

-: 搭載不可を示す

- ・SCSIアレイコントローラカードは、SCSIアレイコントローラカード同士でIRQを共有します。
- ・SCSIアレイコントローラカードは、他の拡張カードおよび装置とIRQは共用できません。
- ・SCSIカード(GP5-125)使用時は、SCSI SelectユーティリティでHost Adapter BIOS(Configuration Utility Reserves BIOS Space)の機能を無効化(Disabled)してください。
- ・LANカードおよびオンボードLANのIRQを共有するときは、ご使用になるOS毎に注意事項があります。
[Windows 2000 Serverの場合]
 - LANカード(GP5-181/GP5-185/GP5-187)およびクラスキット4(GP5S634)は、オンボードLANとIRQを共有します。
 - LANカード(GP5-181/GP5-185/GP5-187)およびオンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
[Windows NT Server 4.0またはSBS 4.5の場合]
 - LANカード(GP5-181/GP5-185)およびクラスキット4(GP5S634)は、オンボードLANとIRQを共有します。
 - LANカード(GP5-181/GP5-185)およびオンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
[NetWare 4.2(2CPU構成)の場合]
 - LANカード(GP5-181/GP5-185) / オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - LANカード(GP5-181/GP5-185) / オンボードLANは、IRQレベル7および15を使用しないでください。
 - MSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
[NetWare4.2およびNetWare3.2J(1CPU構成)の場合]
 - オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - LANカード同士(GP5-181/GP5-185)でIRQを共有できます。ただし、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
 - MSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
- ・パラレルポート、シリアルポートを使用していないときはBIOSセットアップユーティリティで該当ポートを『Disabled』に設定することによって、そのIRQを流用することができます。

内蔵オプションの設定

ストレージベイと内蔵オプション

本サーバは、3種類のストレージベイに、それぞれ以下の内蔵オプションを取り付けることができます。

ストレージベイ	内蔵オプション
5インチストレージベイ	内蔵CD-ROMドライブユニット（標準搭載） 内蔵DATユニット 内蔵光磁気ディスクユニット 内蔵1/4インチCRMTユニット
3.5インチストレージベイ（ホットプラグベイ）	内蔵ハードディスクユニット（ホットプラグ対応）
3.5インチストレージベイ（ノンホットプラグベイ）	内蔵ハードディスクユニット（ノンホットプラグ対応）

ストレージベイとSCSI-ID

内蔵オプションのうち、内蔵SCSIオプションは、ストレージベイに取り付けるまえに下表のとおり、対応したSCSI-IDに設定してください。ただし、ホットプラグベイに取り付ける場合は、SCSI-IDの設定は自動的に行われるため、不要です。

[ディスクレスタイプ/OSインストールタイプ]

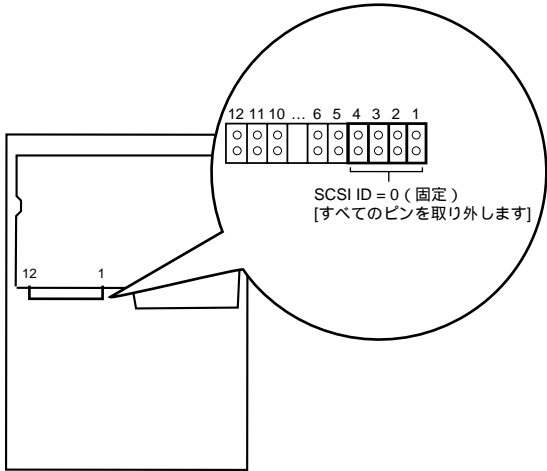
ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレージベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット（IDE規格）を標準搭載
	2	4	
	3	5	
3.5インチストレージベイ ホットプラグベイ	4	1	OSインストールタイプは、内蔵ハードディスクユニットを標準搭載
	5	2	
	6	3	
3.5インチストレージベイ ノンホットプラグベイ	7	0	

[アレイタイプ]

ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレージベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット（IDE規格）を標準搭載
	2	4	
	3	5	
3.5インチストレージベイ ホットプラグベイ	4	1	内蔵ハードディスクユニットを標準搭載 内蔵ハードディスクユニットを標準搭載 内蔵ハードディスクユニットを標準搭載
	5	2	
	6	3	
3.5インチストレージベイ ノンホットプラグベイ	7	0	

内蔵ハードディスクユニット

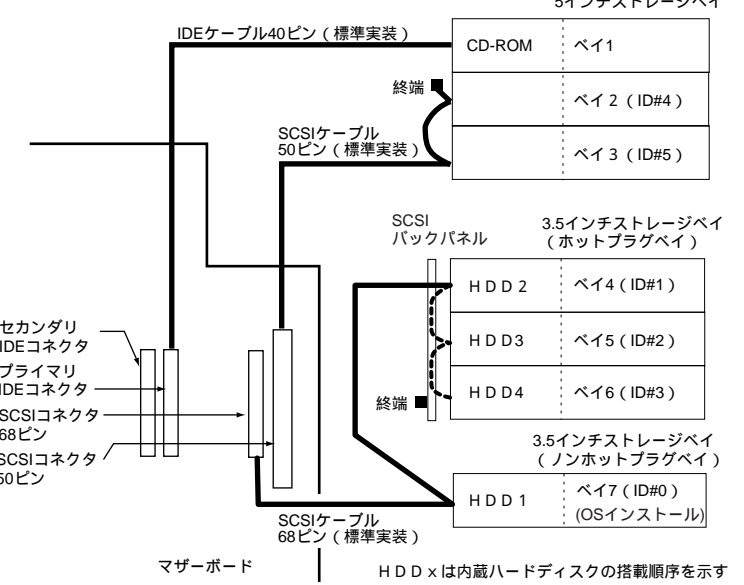
SCSI規格の内蔵ハードディスクユニット(GP5-HD9G3/GP5-HD8G1)
内蔵ハードディスクユニット(GP5-HD9G3/GP5-HD8G1)は、ノンホットプラグベイへの取り付け用のハードディスクユニットです。
SCSI-ID=0になるように設定してください。



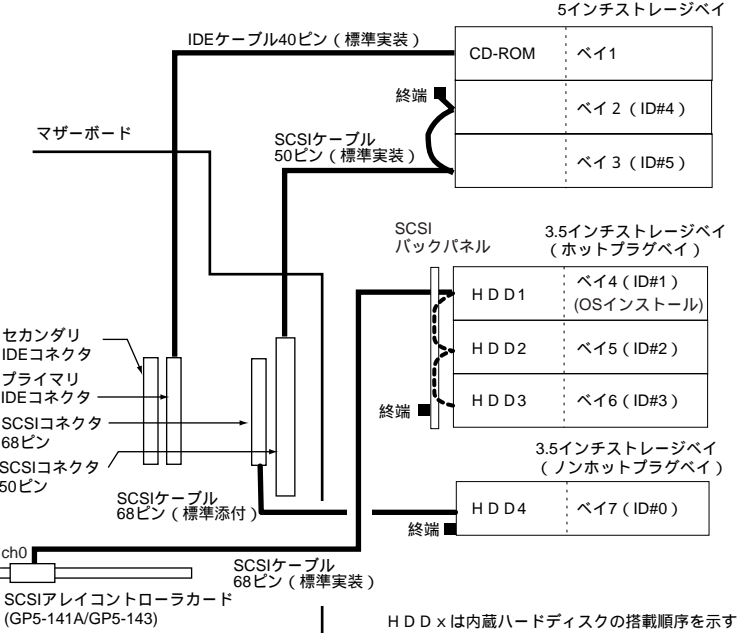
内部ケーブルの接続

内部ケーブルを、ストレージベイに取り付けられた内蔵オプションにそれぞれ接続します。各タイプの接続形態を以下に示します。

[ディスクレスタイプ/OSインストールタイプの場合]



[アレイタイプの場合]



BIOSセッティングユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「Enter Setup,Press Ctrl_Alt_Esc Key」が表示されます。
ここで[Ctrl]+[Alt]+[Esc]キーを押すと、BIOSセッティングユーティリティが起動されます。
以下に工場出荷設定値を示します。

Disk Drivesメニュー	
Floppy Drive A	: 1.44MB 3.5-inch
Floppy Drive B	: None
IDE Primary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Primary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Secondary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled
IDE Secondary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
CD-ROM Drive DMA Mode	: Enabled

Power Managementメニュー	
Power Management Mode	: Enabled
IDE Hard Disk Standby Timer	: OFF
System Sleep Timer	: OFF
Stop CPU Clock in Sleep State	: No
Power Switch < 4sec.	: Power Off
Wakeup Event	
Modem Ring	: Disabled

Startup Configurationメニュー	
Fast POST Mode	: Disabled
Silent Boot	: Disabled
Num Lock After Boot	: Enabled
Memory Test	: Enabled
Partial Test	: Enabled
Release All Blocked Memory	: Disabled
Configuration Table	: Enabled
Initialize SCSI Before IDE	: Disabled
System Boot Drive	: Drive A Then C
Boot from IDE CD-ROM	: Enabled
Boot from LANDesk(R) Service Agent	: Disabled
Boot from Onboard SCSI Device	: Enabled (ディスクレスタイプ/OSインストールタイプの場合)
	: Disabled (アレイタイプの場合)

Advanced System Configurationメニュー	
Onboard Devices Configuration	
Serial Port 1	: Enabled
Base Address	: 3F8h
IRQ	: 4
Serial Port 2	: Enabled
Base Address	: 2F8h
IRQ	: 3
Parallel Port	: Enabled
Base Address	: 3BC
IRQ	: 7
Operation Mode	: Standard
ECP DMA Channel	: -(表示のみ)
Onboard Floppy Disk Controller	: Enabled
Onboard IDE Primary Channel	: Enabled
Onboard IDE Secondary Channel	: Enabled
Onboard PS/2 Mouse (IRQ 12)	: Enabled
Onboard USB	: Disabled
USB Legacy Mode	: Disabled
Onboard SCSI	: Enabled
Onboard SCSI terminator	: Enabled
SCSI initialization and IRQ assignment	: Enabled
Onboard Ethernet Chip	: Enabled
SMBUS Interrupt (IRQ9)	: Enabled
PnP/PCI System Configuration	
PCI IRQ Setting	: Manual
PCI Slot 1	: --
PCI Slot 2	: --
PCI Slot 3	: --
Onboard SCSI	: 11
AGP	: --
Onboard LAN	: 10
PCI Device Latency Timer	: 20
PCI IRQ Sharing	: Yes
VGA Palette Snoop	: Disabled
Graphics Aperture Size	: 64
Plug and Play OS	: No
Reset Resource Assignments	: No
Memory Cache Configuration	
Internal Cache (CPU Cache)	: Enabled
Cache Scheme	: Write Back
System BIOS Cacheable	: Enabled
Video BIOS Cacheable	: Enabled
Memory at 15MB-16MB Reserved for	: System
Memory Mode	: ECC+Scrubbing
Single Processor MP Table	: Enabled

(続き)

CPU Speed Configuration	
Bus Frequency	: 100MHz
Multiple	: Auto
Processor Speed	
System Event Configuration	
System Event Logging	
Event Log BIOS Version	: イベントログBIOS版数表示
Total Event Log Number	: 格納済みイベントログ数表示
Remain of Event Log Area	: 残りイベントログ格納領域%表示
Event Logging	: Enabled
Clear Event Log	: Disabled
>View Event Logs	: イベントログ表示
Event Control	
Temperature/Voltage/Fan	: Enabled
ECC	: Enabled
PCI	: Enabled
I/O Check	: Enabled
Critical Event Process	
Stop POST After CPU or Memory Reduction	: Disabled
Halt System If No CPU or Memory Available	: Enabled
Non-stop mode during POST	: Disabled
Threshold Setting	
CPU Warning Temperature	: 67
CPU Fatal Temperature	: 72
System Temperature	: 49
System Voltage	: 10
Chipset Configuration	
SDRAM CAS Latency	: 3CLKs
SDRAM RAS to CAS Delay	: 2CLKs
SDRAM RAS Precharge Time	: 2CLKs
Multi-Transaction Timer Count Value	: 32CLKs
Processor Serial Number	: Disabled
INTEL SMM Card Configuration	
INTEL SMM Card	: Disabled
I/O	: -
IRQ	: -
Memory	: -
DMA	: -

System Securityメニュー	
Disk Drive Control	
Floppy Drive	: Normal
Hard Disk Drive	: Normal
Setup Password	: None
Power-on Password	: None
Operation Mode	: Normal

Date and Timeメニュー	
Date	現在の日付が表示
Time	現在の時刻が表示

SCSIコンフィグレーションユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「 Press Ctrl_C to start to Configuration Utility ... 」が表示されます。ここで[Ctrl]+[C]キーを押すと、SCSIコンフィグレーションユーティリティが起動されます。
以下に工場出荷設定値を示します。

Mainメニュー	
Change Adapter Status	
Change Status on Next Boot	: Next-Boot:On
Adapter Boot Order	本サーバでは、選択できません。
Additional Adapter Configuration	本サーバでは、選択できません。
Display Mode	: Verbose
Mono/Color	: Mono
Language	本サーバでは、選択できません。

Utilityメニュー	
Adapter Setup	
SCAM Support	: Off
Parity	: On
Host SCSI ID	: 7
Scan Order	: Low to High (0..MAX)
Removable Media Support	: None
CHS Mapping	: SCSI Plug and Play Mapping
Spinup Delay(Secs)	: 2
Device Selections	
Dev0 ~ 15 N/A	
Sync Rate(MegaBytes/sec)	: 40
Width(bits)	: 16
Disconnect	: On
Read Write I/O Timeout(secs)	: 10
Scan for Device at Boot Time	: yes
Scan for SCSI LUNS	: yes
Queue Tags	: On
Initial Boot Device	: No